

# つむぐ会だより

令和6年度第3回介護と医療をつむぐ会  
令和6年12月13日(金)  
開催報告

No.28 令和7年1月発行 ●発行/流山市 ●編集/介護支援課

## 流山市の高齢者を取り巻く状況 ～問題を抱え必要な医療介護サービスに結び付かない高齢者の支援～

令和6年12月13日(金)初石公民館にて第3回介護と医療をつむぐ会を開催し当日は64名の参加がありました。

流山市くらしサポートセンター ユーネット様から  
「高齢者の生活困窮の実態と特徴・支援について」のお話をいただきました。



グループワークでは事例をもとに、「医療介護が必要な高齢者を、サービスに結び付けるにはどのような関り方が必要か」「今まで引きこもりや経済的な困難を抱えている高齢者と関わった経験において、成功体験、難しかったこと、課題について意見交換を行いました。

## アンケート抜粋

- ・関わったケースに関し、体験談や、支援サービス等を学ぶことができた。
- ・職種が違うと見方や気になるところが異なるためうまく連携が取れれば、より良いサービスにつながると思った。
- ・グループワークでは、様々な意見があり参考になった

次回のつむぐ会は

「在宅療養高齢者の救急要請～急変時における医療・介護・消防(救急)の円滑な連携とは～本人の意思に沿う場面に焦点をあてて」

令和7年2月17日(月)18時30分から20時30分

初石公民館 ホール

皆さんは患者さん、利用者さん、その御家族に人生会議(ACP)の大切さについて話したことがありますか。患者さん、利用者さんの意思に沿った支援をするためにまず、人生会議(ACP)に関する他職種の考え方、視点、実践について知ることから始めませんか。より多くの医療介護関係の皆様のご参加をお待ちしております。

## グループワーク意見抜粋

課題1「事例に関して、父母を必要な医療介護サービスに結び付けるにはどのような関りが必要だと思いますか」

- ・家族との関係づくりとして、本人、家族の思いを聞く
- ・気にかけている人がいることを知らせる
- ・あきらめない
- ・声をかける際の言葉選びを慎重に行う
- ・支援者間で役割分担を決めて関わる

## うまくいったこと

- ・興味のありそうなことに寄り添ったら距離感が縮まった。
- ・サービスに入った際、欠かさず挨拶を続けたら、いつの間にか引きこもりの家族が挨拶を返してくれるようになった。

課題2「引きこもりや、経済的な困難を抱えている高齢者と関わった経験がありますか。その時の関わりでうまくいったこと、難しかったこと、課題について意見を共有してください」

## 課題

- ・本人が生活の困りごとに気が付いていない
- ・サービスを提案しても本人家族が必要性を感じなかったり、金銭的な問題などが原因でつながらない。
- ・年齢や、障害によって関わる支援事業所が異なり、連携を取らないとバラバラになる。
- ・独居の人は、自分の生活を崩されるのを嫌がり人の支援が入るのを拒む傾向がある
- ・単職種のみでは、問題の対応ができなくなってなっている。
- ・地域には、このような高齢者がたくさんいる



高齢者を取り巻く課題の要因が複合・複雑化、多様化し支援やサービスにつなげるタイミングの見極めが難しくなってきています。皆さんの経験、強みを活かし他職種の立場、視点を理解し連携することが求められます。医療と介護をつむぐ会では、職域理解、多職種連携の一助となることを目指しています。

